

# Hem21 NEWS

公益財団法人  
ひょうご震災記念21世紀研究機構  
ニュース

## CONTENTS

- ①～② 平成25年度研究体制と  
ミッション
- ③ 地域支援活動の紹介
- ④～⑤ 情報ひろば
- ⑥～⑧ 人と防災未来センター  
MiRAi

「Hem21」は、ひょうご震災記念21世紀研究機構の英語表記である  
Hyogo Earthquake Memorial 21st Century Research Instituteの略称です。

VOL. **40** 平成25年  
(2013) 7月

管理部

研究調査本部

人と防災未来センター

こころのケアセンター

学術交流センター

## 平成25年度研究体制とミッション

当機構の平成25年度研究体制をご紹介します。研究調査本部では、防災・減災の社会づくりに資するとともに、21世紀文明のあり方について研究し、国内外の政策形成に情報発信すべく、研究調査の推進を図っていきます。

### 研究テーマと担当研究員

#### 「災害時の広域連携支援の役割の考察」

梶原 晶 研究員

広域行政主体の災害支援活動の有効性と課題を考えるために、関西広域連合の東日本大震災での支援活動について検証する。本年度は、昨年度からの研究成果を体系的にまとめ、今後の災害対応のあり方について政策提言する。



#### 「ローカル・ガバナンスが創る共生社会の考察」

安藤 仁朗 主任研究員

ローカルレベルで立ち現われてくる貧困や格差、社会的排除などの課題に対し、市民・公益的市民組織・自治体・企業などがつくる市民社会の営為の実態把握とそれを支えるために必要な社会制度について討議し、新たな共生社会のデザインに向けた政策提言を行う。



#### 「大震災復興過程の比較研究～関東、阪神・淡路、東日本の三大震災を中心に～」

渡邊 公太 研究員

近現代日本の3つの震災について、政治・行政学的見地からその復旧・復興過程の比較研究を行う。本年度は昨年からの研究の集大成として、震災復興に関わる政治行政上の対応の実態を総合的に把握した上で、将来への知見を得るための政策提言を行う。



#### 「国際防災協力体制構築の検討～アジアを中心に～」

富永 泰代 主任研究員

子どもたちをはじめアジアの草の根から防災意識を高め、また災害時には緊急対応する国際協力の仕組みを検討し、さらに日本の「海外支援受け入れ」の課題に対し、日本政府、地方自治体、NPO・NGO、企業等による協力関係の構築を探索する。



### 「東日本大震災における、生活復興ロードマップ検討プロジェクト～被災者の『今』を支えるために～」

高野 尚子 研究員

阪神・淡路大震災被災地と東日本大震災被災地の協働により、被災者の「今」を支え、被災者の視点に立った「東日本大震災からの生活復興ロードマップ」を提案し、被災者が主体となった復興プロセスを支えるとともに、東北の被災者、団体、NPO、大学、行政等のネットワークの形成を支援する。



### 「過疎と都市への集中の両極化が進む中でのコミュニティづくりの研究」

金 政芸 主任研究員

コミュニティの機能は都市部と郡部の両地域で低下しているが、その原因は一樣ではなく地域によって異なる。そこで、地域の特性に合った持続可能なコミュニティづくりの方法を考察し、政策提言を行う。



## HAT神戸 掲示板

### JICA関西

#### 食べることから始める国際協力! JICA関西食堂の月替りエスニック料理

JICA関西1階の食堂(カフェテリア方式)は、どなたでもご利用できます。完全禁煙で、安心して料理を楽しめ、子供椅子もご用意していますので、お子様連れも歓迎です。大好評の月替りエスニック料理の8月はベトナム料理、9月はウズベキスタン料理をご用意します!ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。



6月のアフリカ料理

メニューの詳細と写真については、こちら→ <http://www.jica.go.jp/kansai/office/restaurant/index.html>

■営業時間=(昼)11時半から14時まで (夜)17時半から21時まで  
※各終了30分前ラストオーダー

■定休日=無休(但し、年末年始を除く)

◎問い合わせ  
JICA関西(独立行政法人国際協力機構関西国際センター)  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2  
TEL 078-261-0341(代) FAX 078-261-0384  
<http://www.jica.go.jp/kansai/>

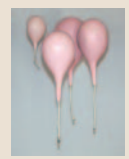
### 兵庫県立美術館

#### 2013年度コレクション展Ⅱ 特集:新収蔵品紹介「信濃橋画廊コレクションを中心に」 小企画:近いかたち、遠いかたち-岡普司・重松あゆみ・中西學-

関西の老舗の現代美術画廊として、新進気鋭の作家を多く輩出し、惜しまれながら歴史に幕を閉じた信濃橋画廊。同館の新収蔵品の中から、「信濃橋画廊コレクション」約160点を含む約180点を、常設展示室で初めて紹介します。



岡 普司(THINK THE DEEP FROM THE SOURCE / 源流から海溝を思う) 2006年



福岡道雄(ピンクバルーン) 1966年/1986年再成型

さらに、手で触れて鑑賞する毎年恒例の小企画「美術の中のかたち-手で見る造形」展を開催。24回目の今年は、「かたち」をテーマに関西在住の3人の美術家が制作した作品を展示します。

- 会期=11月10日(日)まで
- 観覧料=一般500(400)<300>円、大学生400(320)<240>円、高校生・65歳以上250(200)<150>円、中学生以下無料
- ※( )は20人以上の団体割引料金、< >は特別展とのセット割引料金
- ※障害のある方とその介護の方1人は無料
- ※7月2日(火)~9月29日(日)県立美術館は「クールスポット!!」。コレクション展Ⅱが半額になるほか、期間中の特別展「奇跡のクラーク・コレクション」「生誕130年 橋本関雪展」「ベルサイユ宮殿のスーパーセレブ マリー・アントワネット物語展」のご観覧者(いずれも無料のご観覧者を除く)には、11月2日(土)から開催の特別展「昭和モダン 絵画と文学1926-1936」の特別招待券(非売品、転売禁止(1枚につき1人1回限り有効))を進呈します

- ◎休館日=月曜(9月16日・23日は開館し、翌17日・24日に休館)
- ◎開館時間=10時~18時(金曜・土曜は20時まで)
- ※神戸ビエンナーレ2013の会期中(10月1日(火)から)は無休
- ※入場は開館の30分前まで
- ※同時開催展「奇跡のクラーク・コレクション」「ベルサイユ宮殿のスーパーセレブ マリー・アントワネット物語展」(9月1日(日)まで)
- TEL 078-262-0901 <http://www.artm.pref.hyogo.jp/>

### 日本赤十字社 兵庫県支部

#### 赤十字の活動資金にご協力をお願いします。

開発途上国では、不衛生な環境や保健サービスの欠如、栄養不足などにより、多くの人が命を落としています。日本赤十字社では、海外の保健・衛生支援として、感染症の予防や衛生的な環境づくりなどを通じて、健康増進、疾病予防に取り組んでいます。

現在、姫路赤十字病院の看護師をフィリピン共和国に派遣。地域住民に対して衛生知識を普及させるための地域保健ボランティア等の人材育成、パンフレットなどを用いて住民に疾病の原因や罹患した際の症状、その予防方法を普及する健康教育などの保健衛生活動を行っています。

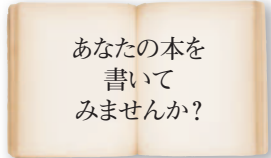
皆さまからお寄せいただく資金は、国内災害救護活動などの他、海外の救護活動にも活用されています。



◎お問合せ先 日本赤十字社兵庫県支部 振興課  
TEL 078-241-8921 <http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

## 言葉を伝える

私に伝えた  
誰かのように



あなたの本を  
書いて  
みませんか?

小説、自伝、詩集などあなたがお書きになった原稿をご予算に応じた自費出版プランでご提案いたします。また、各企業の記念誌等の企画・プロデュースもいたしております。どうぞお気軽にご相談ください。

ISO14001  
当社の印刷センターは  
ISO14001の認証を  
取得しています。  
新聞印刷及び各種商業印刷



株式会社 神戸新聞総合印刷 印刷物の企画プロデュースから編集・印刷まで、ニーズに合わせてトータルに手がけます。  
☎078-362-7180 企画・デザイン・編集・制作・新聞印刷・商業印刷  
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7 <http://www.kobepn-printing.co.jp/> 出版印刷・新聞広告・雑誌広告・SP・イベント・IT事業

## ●地域支援活動の紹介●

こころのケアセンター相談室は、電話と面接で、トラウマ(こころの傷)やPTSD(心的外傷後ストレス障害)等こころのケアに関する相談を中心に、地域との連携窓口としての役割も担っています。

災害や事件・事故等の発生時には「こころのケア」についての緊急的・集中的な対応が必要となり、地域からの要請に対して、体制整備についての助言をはじめ、こころのケアチームの派遣を行い、現地で被災者(被害者)と支援者への支援活動を行っています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、「兵庫県こころのケアチーム」のメンバーとして現地へ赴き、避難所や仮設住宅において支援活動を行うとともに現地スタッフへの研修等も行ってきました。昨年度は地元自治体の要請に基づき、被災者の健康調査の実施に関する支援やこころのケアセンター運営についての助言、研修会・講演会への講師の派遣を行いました。今年度も引き続き被災地への支援を継続していきます。

員のPTSDの予防と支援者のこころのケアを実施しました。

今後も、これまでに積み上げた活動を基に、災害や事件・事故等の発生時の支援活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



地元支援スタッフとの検討会(宮城県)

### 主な活動実績

- 東日本大震災
- ニュージーランド地震
- 平成21年台風9号災害(佐用町・宍粟市)
- 中国四川大地震
- 能登半島地震災害
- JR福知山線脱線事故
- スマトラ島沖地震による津波災害(インドネシア)
- 平成16年台風23号災害(但馬・淡路)
- 新潟県中越地震災害
- 新潟県豪雨災害



こころのケア研修会(宮城県)

また、昨年発生した姫路市の工場爆発事故においては、消防庁と姫路市から支援要請があり、スクリーニング実施への助言や結果分析、健康相談を実施する保健師への助言、現場に出動した消防職員への惨事ストレス研修を行い、関係職

## 災害・被害時に起こる心理的影響と回復のためにできること

### こころも「ケガ」をします

災害や事件・事故などに巻き込まれると、そのショックで、こころは大きな「ケガ」をすることがあります。こころがケガをすると、いろいろなことが起こります。ささいなことでイライラする、夜眠れない、その時の光景が何度も思い浮かぶ、誰とも話す気持ちにならない、何もする気になれない…などなど、これまで感じたことのない気持ちの変化や体の不調が起こることがあります。それらは多くの人が普通に経験するもので、決して特別なものではありません。このような精神的影響を「トラウマ(こころの傷)反応」といいます。

### こころとからだの健康を保つために

- ちょっと一休み—全力で頑張りすぎないで、定期的に休みましょう。
- 気持ちを言葉にしてみましょう。
- 回復の早さは人それぞれ違います。せかさないで見守ってあげましょう。
- 専門家に相談してみましょう。身近な人にさえ打ち明けられない気持ちでも、専門家ならじっくり聞いてくれるはずです。ためらわず相談してみましょう。

学術交流センター

「ひょうご講座2013」開催のご案内

学術交流センターでは、兵庫県内の大学や研究機関等と連携して、専門的な大学教養レベルの生涯学習講座「ひょうご講座2013」を9月から開催します。

数ある生涯学習の中でも、特に1つの科目・テーマを掘り下げて幅広い視点から考察するのが本講座の特徴です。時代の潮流を踏まえたテーマで6科目を実施します。

■概要等

- ▶時間＝平日(月曜・火曜・木曜)18時30分～20時
- ▶日数＝10回(1回当たり90分講義。週1回、同一曜日に実施)
- ▶受講料＝1科目1万5,000円
- ▶定員＝1科目当たり約40人
- ▶開講場所＝兵庫県民会館(地下鉄「県庁前駅」下車すぐ)
- ▶開設科目

分野	科目名	日程
環境	兵庫の誇る多様な自然—生物多様性兵庫—	9/2(月)～12/2(月)
心理	イメージを通じて、心の奥(無意識の世界)を探る	9/2(月)～12/2(月)
経済	日本経済は失われた20年を取り戻せるか?	9/3(火)～11/5(火)
科学技術	地球とわれわれとその文明にかかわるエネルギー	9/10(火)～11/19(火)
国際理解	現代中国の諸問題と日中関係	9/5(木)～11/7(木)
歴史	兵庫史の深層を探る	9/5(木)～11/7(木)

《〈注目の科目〉》

『兵庫の誇る多様な自然—生物多様性兵庫—』

兵庫県の自然は、裏日本と瀬戸内の気候区を結ぶ氷上回廊や猪名川上流域の日本一の里山、生物の交流拠点・都市山六甲など多様で、それぞれに適応した生物群が分布しています。これらの生物多様性に富んだすばらしい自然を紹介し、生物多様性保全の取り組みやその推進事例を解説します。

『日本経済は失われた20年を取り戻せるか?』

失われた20年がなぜ起こったのかから掘り起こし、アベノミクスの3本の矢は可能かを占うとともに、中国、EUなどのグローバル・パワーとどう付き合うのか、その中で関西経済はどう変わらなければいけないのかを考えていきます。

『地球とわれわれとその文明にかかわるエネルギー』

地球史45億年において、エネルギーはさまざまな形態をとりつつ、指数関数的な増大を見せています。しかし、エネルギーに関する諸問題は明確な将来展望を見だせていません。この講座では、エネルギーそのものの理解と科学技術の公共社会への影響について学問したいと計画しています。

『兵庫史の深層を探る』

兵庫県の歴史は、「播磨国風土記」が物語るものや古代山陽道の実態、中世のキーワード「悪党」の真実、5つの旧国から成立した兵庫県の謎など、古代から近代まで多様な視点から歴史の深みに切り込み、新しい兵庫史を開く講座を目指します。

■募集期間

各開講日の1週間前まで。ただし、先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。(インターネット、FAX、郵送で受付)

●申し込み・問い合わせ

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構  
学術交流センター 交流推進課  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2  
TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122  
http://www.hyogo-al.jp/kouza/

ひょうご講座

検索



兵庫自治学会のご案内

兵庫自治学会とは、県政および県内市町行政の振興と地域の発展のために、行政や地域に関するさまざまな課題について研究し、課題解決のための政策形成能力の向上と、組織や職種を超えた幅広いネットワークづくりを目指している団体です。自らの視野を広げるため、一歩踏み出してチャレンジしてみませんか?

■入会するとこんなメリットが!

- ①研究発表大会での発表・ディスカッションを通じて、興味のある行政・地域課題についての研究に取り組み、学識者のアドバイス・助言を受けることができます!
- ②グループでの研究やセミナー等を企画・実施しようとする人は、資金面等で援助が受けられます!研究に関しては指導・助言を行う学識者のあっせんも受けられます!
- ③日頃の研究成果を論文として投稿でき、査読を受けて学会誌に掲載されます!
- ④会報、メルマガ、ホームページ等を通じて、研究発表大会・セミナー・他の会員が主催するイベント等の情報を定期的に受け取ることができます!
- ⑤学会事業への参加を通じ、興味を同じくする地方自治体職員、NPO関係者、学識者、さらには米国の行政関係者らとの、人的ネットワークを広げることができます!

■学会の主な事業

- (1)研究発表大会(平成25年度大会概要)

▶日時＝10月19日(土)

10時45分～18時30分

▶場所＝兵庫県立大学 神戸商科キャンパス(神戸市西区学園西町)  
大会テーマ:よりよい地域社会の担い手づくり

▶内容＝(午前)全体会(記念講演・講演)

記念講演 演題「危機状況における意思決定」(仮題)

講師 五百旗頭 真氏

((公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長(元内閣府復興構想会議議長、元復興庁復興推進委員会委員長))

講演 演題「人を活かす組織づくり」

講師 同志社大学政策学部教授 太田 肇氏

(午後)分科会(地域づくり、共生社会・環境、産業、安全安心)会員等による研究発表および参加者との意見交換、交流会ほか  
※参加申し込みの受け付けは9月から開始予定です

- (2)グループ研究応援事業

グループで行うさまざまな地域課題に関する研究活動に上限10万円までの助成を行っています。

- (3)コラボレーション・プロジェクト

会員が自主的に企画・開催する地域課題・行政課題等に関するセミナー等に、上限10万円まで助成します。

- (4)兵庫自治学会セミナー

行政・地域課題をテーマにしたセミナーを県内地域で開催します。

- (5)論文の自主投稿(査読付)制度

会員からの自主投稿論文を募集しており、査読を受けた論文が掲載されます。

- (6)全米公共・行政学会(ASPAA)との交流

米国の行政実務家や学識者などで構成され、行政に関する学術の向上促進を目的とするASPAAとの交流を行っています。

■会員になるには

年会費2,000円

兵庫県職員、県内市町職員、県内に在住または在勤の学識者・NPO職員・個人に該当する方ならどなたでもご入会いただけます。(会員数約900人)

●問い合わせ

兵庫自治学会事務局

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構・学術交流センター内

TEL 078-262-5714 FAX 078-262-5122

Eメール gakujuitsu@dri.ne.jp http://hapsa.net/



兵庫県こころのケアセンター

平成25年度

第1期「こころのケア」研修の受講生募集

兵庫県こころのケアセンターでは、「こころのケア」に携わる保健・医療・福祉等の分野で活動されている方を対象に、各種課題への対処法等について学ぶ「専門研修」を実施しています。

9月から10月にかけて実施する研修の受講生を次のとおり募集しています。ぜひご参加ください。

▶研修概要

区分	コース名	期間	定員	対象	受講料 (資料代等)
専門 研修	①悲嘆の理解と遺族への支援	9/18(水) 19(木) (2日間)	35人	医療・保健・福祉・心理臨床の分野で活動する者および遺族支援に携わる者	2,500円
	②DV被害者のこころのケア	9/25(水) (1日間)	35人	母子自立支援員、女性相談員(婦人相談員)、婦人保護施設職員、母子生活支援施設職員、家庭問題相談員、保健師、福祉事務所職員、こども家庭センター(児童相談所)職員等DV被害者相談支援関係職員	2,000円
	③警察職員のためのストレスマネジメント	10/3(木) (1日間)	30人	警察職員	2,200円
	④災害に備えるーサイコソジカルファーストエイドと防災教育ー	10/9(水) 10(木) (2日間)	25人	自治体防災・危機管理・精神保健福祉関係等職員	3,000円
	⑤犯罪被害とこころのケア	10/17(木) 18(金) (2日間)	25人	保健・医療・福祉・教育・司法・警察・消防関係職員	3,000円

▶場所=兵庫県こころのケアセンター

▶申し込み方法=各コースとも先着順で受け付けます。受講申込書(※)に必要事項を記入の上、郵送またはFAXで下記照会先までお送りください。

※当センターホームページからダウンロードできます。

●申し込み・問い合わせ

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構  
兵庫県こころのケアセンター  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2  
(阪神「春日野道」駅から南へ徒歩約8分)  
TEL 078-200-3010 FAX 078-200-3017  
<http://www.j-hits.org/>



人と防災未来センター

3Dドキュメンタリー映像「東日本大震災“津波の傷跡 2011-2013”」の上映について

人と防災未来センターでは、平成23年7月より、東日本大震災発生から1カ月後の東北地方太平洋岸の津波被災地の状況をハイビジョン3Dカメラで収録したドキュメンタリー映像「東日本大震災 津波の傷跡」を上映。また、24年4月からは、被災地の1年後までの映像を加えた作品「東日本大震災 津波の傷跡(震災1年の記録)」を上映してきました。

今回は、これまでの映像に加え、かさ上げ工事を行って水揚げを再開した気仙沼魚市場など、震災から2年を経過した被災地の今の映像を新たに加え再編集した「東日本大震災“津波の傷跡2011-2013”」を上映します。(所要時間:約24分)



会場 人と防災未来センター東館1階 こころのシアター  
上映時間

タイムテーブル	東日本大震災 津波の傷跡 2011-2013			葉っぱのフレディ (常設作品)
火曜～日曜 の毎日	10:00	10:30	11:00	11:00
	11:30	12:00	12:30	13:00
	13:30	14:00	14:30	15:00
	15:30	16:00	16:30	17:00
	17:30(金・土および7月～9月)			
金曜・土曜	18:00	18:30		

●問い合わせ

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター「観覧案内」  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2  
TEL 078-262-5050 FAX 078-262-5055

クールスポット料金について

このたび兵庫県では、今夏の厳しい電力需給状況を踏まえ、家庭の電力消費の削減を図るため、家族全員で外出し、一定時間涼むことができる県立施設を「クールスポット」に設定し、有料施設の入館料・入園料の減免等を実施しています。

つきましては、人と防災未来センターの観覧料減免を下記のとおり行っていますので、ぜひご利用ください。  
実施期間: 7月2日(火)～9月29日(日)  
減免料金: 上記期間中は入館料金が半額(10円未満切り捨て)となります。

## 平成25年度 トライやる・ウィーク

神戸市立歌敷山中学校の2年生2人(6月4日から7日までの4日間)、神戸市立筒井台中学校の2年生2人(6月11日から14日までの4日間)が、トライやる・ウィークとしてセンターで実習を行いました。

シアターへの来館者の誘導、実験コーナーでの来館者の実験の手伝いや、資料室収蔵庫での作業に加え、館内配布用防災クイズの問題作成等、さまざまな体験をしました。



神戸市立筒井台中学校の2年生

## 友の会活動報告

7月4日、センターにおいて友の会総会が開催されました。今年度の事業計画等について議論が交わされ、新たに会員サービスを充実していくことなどを決めました。

### 新たな会員サービス

#### (1) 活動レポートの受け付けと記念品の贈呈

会員から防災活動に関するレポートを受け付け、ウェブページ等を通じて広く公表するとともに、一定の成果を収めた会員を対象に記念品を贈呈する。

#### (2) 会員向け防災学習書籍(貸出用)の充実

会員が防災学習を円滑に進められるよう、定評のある防災学習書籍を体系的に常備し、会員を対象に貸し出しを始めます。

#### (3) ジュニア友の会・会員缶バッジの授与

会員が13歳未満の家族を同伴で観覧した際に、会員からの希望に応じて、当該家族を対象にジュニア友の会・会員缶バッジを授与します。

## 平成25年度 1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」募集中

阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に向かって継承していくため、学校や地域で防災教育や防災活動に取り組んでいる子どもや学生を顕彰する事業です。

ぼうさい甲子園では、日常の備えとなる学校や地域での取り組みを募集しています。さらに今年度は、東日本大震災で津波の被害が大きかったこと、日本全国において津波の被害が懸念されていることから、「津波避難訓練や津波対策の取り組み」を対象とした「津波ぼうさい賞」、国語、理科、家庭科等の一般教科に防災を取り入れた「教科教育の中での防災教育の取り組み」を対象とした「教科アイデア賞」を選考します。また、防災教育の裾野の拡大を期待し、「過去に応募がなかった地域での取り組み」を対象に新たな賞を設けるなど、大賞や優秀賞以外で特色のある取り組みも表彰します。その他、継続的にご応募いただいている学校・団体の表彰も予定しています。

次世代を担う子どもたちの防災活動や災害に取り組む活動が、防災教育の新たな道を切り開き、前進していきますようにとの願いを込めて、1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」を実施します。





**【対象部門】**

①小学生 ②中学生 ③高校生 ④大学生  
(その他:自主防災組織・NPO等からも各部門に応募可)

**【対象活動】**

自然災害から命と暮らしを守るための防災教育や防災活動の取り組み。応募は学校、クラス、サークル活動、ボランティア活動、地域などの単位で。※他薦歓迎

**【対象期間】**

平成24年10月1日～26年3月31日(活動予定も含む)

**【応募締め切り】**

平成25年9月30日(月)(消印有効)

**【応募方法】**

- インターネットからの応募  
下記のURLから申し込みください。  
<http://npo-sakura.net/bousai-koushien/>
- 郵送またはFAXからの応募  
下記のURLから、応募用紙をダウンロードしてください。  
<http://www.mainichi.co.jp/event/edu/bousai/>

**【応募用紙の配布】**

- 下記の機関で応募用紙を配布しています。
- ・兵庫県復興支援課 TEL 078-362-9984
  - ・(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構  
人と防災未来センター TEL 078-262-5068

**【応募先】**

〒663-8201 西宮市田代町16-8 パルティーレN棟西号室  
ぼうさい甲子園事務局 (特非)さくらネット  
TEL 0798-64-5829 FAX 0798-65-5254  
Eメール bousai\_koushien@yahoo.co.jp



過去の受賞校の取り組み等を携帯で見ることができます。

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

**阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター**

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2  
観覧案内・予約 / TEL 078-262-5050 <http://www.dri.ne.jp/>

**開館時間** 9時30分～17時30分(入館は16時30分まで)  
※7月～9月は9時30分～18時(入館は17時まで)  
※金曜、土曜は9時30分～19時(入館は18時まで)

**入館料金**

大人	大学生	高校生	小・中学生
600円(480円)	450円(360円)	300円(240円)	無料

※( )は20人以上の団体料金  
※障害者、65歳以上の高齢者は上記の半額

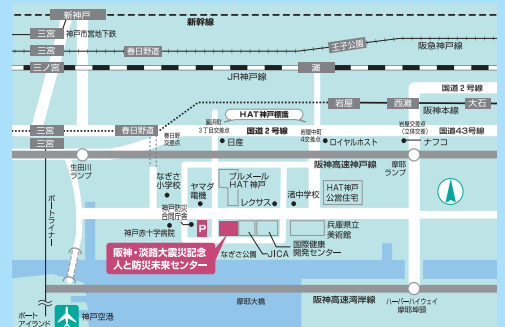
**休館日**

毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)、12月31日と1月1日  
※ゴールデンウィーク期間中(4月28日から5月5日まで)は無休  
※資料室の開室日についてはホームページでご確認ください

**交通**

- 鉄道**
- ・阪神電鉄「岩屋」駅、「春日野道」駅から徒歩約10分
  - ・JR「灘」駅南口から徒歩12分
  - ・阪急電鉄「王子公園」駅西口から徒歩約20分
- バス**
- ・三宮駅前から約15分
- 車**
- ・阪神高速道路神戸線「生田川」ランプから約8分
  - ・阪神高速道路神戸線「摩耶」ランプから約4分
  - ・阪急・阪神・JR「三宮」駅から約10分

●有料駐車場あり ●バス待機所(予約制/無料)あり



## 平成25年度春期「災害対策専門研修」マネジメントコースの実施結果

人と防災未来センターでは、地方自治体職員などを対象とした「災害対策専門研修」マネジメントコースを平成14年度から実施しています。当該コースは、災害対策実務の中核を担う人材の育成を目的とし、阪神・淡路大震災の教訓を学習することを重点としつつ、最新の研究成果も取り入れ、能力に応じた体系的・実践的なカリキュラムです。これまでに、延べ2,000人に近い方々に受講され、全国の自治体等から高い評価を得ています。春期研修においては、ベーシック、エキスパートAおよびエキスパートBの3コースを実施しました。

ベーシックでは、経験年数の浅い防災・危機管理担当部局の職員を対象に、災害の発生に関する理論や阪神・淡路大震災の経験を踏まえた災害対策のあり方など、基礎的な事項についての体系的な講義やセンターの資料展示を活用した演習などを実施しました。

また、エキスパートAおよびエキスパートBでは、防災・危機管理担当部局の職員を対象として、大規模災害発生時に各種の対応が同時並行的に展開する状況を横断的・総合的に捉え、これに対処する能力を向上させることを目的に研修を実施しました。カリキュラムは、報道機関と連携した積極的な情報発信のあり方をテーマとした講義や、災害対策本部を機能させる効果的なレイアウトを考える演習、防災・減災ワークショップの手法を学ぶ演習などを行いました。

研修終了後のアンケートでは、「防災担当職員としてまず知っておかなければならない全般的な知識が得られ、防災に対するモチベーションが向上した」「阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験談を聞くことで、実際の災害対策本部や避難所での課題を認識することができた」「事前対策・防災・減災など多方面から防災を考える機会となった」など、意見が寄せられました。さらには、受講者間の交流を通じて防災担当者の全国的なネットワークが一層強まりました。

コース名	日程	参加人数
ベーシック	6月4日(火)～7日(金)	45人
エキスパートA	6月11日(火)～14日(金)	28人
エキスパートB	6月18日(火)～21日(金)	28人
合計(延べ)		101人

なお、秋期(10月)については、エキスパートA、エキスパートBおよびアドバンスト・防災監／危機管理監の3コースを予定しています。



大規模災害における行政の対応実態(6月5日ベーシック)



被災者が直面する生活課題全体討論会(6月7日ベーシック)



被災現地での「都市の復興概論」(6月14日エキスパートA)



災害対策本部の空間構成設計演習(6月20日エキスパートB)



**Hem21 NEWS**  
vol.40

平成25年7月発行

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構  
〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2(人と防災未来センター)  
<http://www.hemri21.jp/>

当機構は、以下の組織で構成しています。

●管理部門

TEL 078-262-5580  
FAX 078-262-5587

●研究調査本部

TEL 078-262-5570  
FAX 078-262-5593

●人と防災未来センター

TEL 078-262-5050  
FAX 078-262-5055

●学術交流センター

TEL 078-262-5713  
FAX 078-262-5122

●こころのケアセンター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2  
TEL 078-200-3010  
FAX 078-200-3017

ニュースレターに関するご意見・ご感想を機構までお寄せください